

科 目 名	歴史総合	単 位 数	2 単位		学 科 ・ 学 年	全学科 1 年生	
使用教科書	明解 歴史総合 (帝国書院)				副 教 材 等	プリント 視聴覚教材 等	
学 習 目 標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追求したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)近現代の歴史の変化に関する諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成にかかわる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2)近現代の歴史の変化に関する事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多目的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3)近現代の歴史の変化に関する諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。						
学 習 評 価	○次の三つの観点に基づき、学習内容のまとまり（定期考査ごとを学習のひとつとまとまり）ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に 5 段階の評定に総括します。						
	①知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。					
	②思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。					
	③主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的かつ多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。					
		評価方法\観点	①	②	③		
		学習状況観察	○	○	◎	学習態度や状況を観察する。	
		課題提出	○	◎	○	必要に応じて準備する。	
		ノート提出	○	○	◎	考査ごとに提出する。	
		ペーパーテスト	◎	◎	○	小テスト・定期考査	
	※表中の◎は観点の中でより重視するところです。						
○学習の過程で授業評価や自己評価を実施する。 自らの学習状況をチェックし、目標到達や授業改善に、授業者と共に努める。							
*チェック項目の例…授業に対する理解、授業態度、提出物の提出期限厳守。							
履 修 上 意 の 注 意	◇新しい科目である「歴史総合」では、ただ単に過去の歴史を学ぶのではなく、様々な過去の事象やつながりから、自らの頭で、多角的多面的に物事を捉え、「考える力」や「想像力」を養い、未来に向かって生きていく力を養うことを強く意識して学習すること。 そのため、日ごろから、新聞、雑誌、インターネットなどを通して、現在の様々な情報や資料に対してのアンテナを張り巡らし、社会情勢にも関心を持つようにすること。 ◇人物や出来事を暗記することより、まずは「流れ」「つながり」「因果関係」を、理解することに心がける。 ◇プリントの空欄や板書事項だけをただ写すのではなく、授業者の説明等もメモをとる力をつけること。						

学期	月	学 習 内 容	時数	学 習 の ね ら い	学習活動(評価方法)
1 学期	4	1部 歴史の扉 1章 歴史と私たち	1	私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	【学習状況観察】 【プリント教材】 【ノート提出】 【自己評価】 【中間考査】
		2章 歴史の特質と資料 1節 資料を取り扱ってみよう 2節 歴史叙述とは何か考えてみよう	1	私たちは過去の状況をどのようにして知り、伝えてきたのだろうか。	
		2部 近代化と私たち 序章 近代化への問い	1	「近代化」について考察していく。	
		1章 江戸時代の日本と結び付く世界	4	18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。	
	5	2章 欧米諸国における近代化	4	欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。	【学習状況観察】 【プリント教材】 【ノート提出】 【自己評価】 【期末考査】
	6	3章 近代化の進展と国民国家形成	4	近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。	
		4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	4	近代化した欧米諸国の進出に、アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。	
		5章 近代化が進む日本と東アジア	4	日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。	
	7	「近代化」を振り返り 現代的な諸課題と結び付けて考える。	1	現代の諸課題を通し、私にとって近代化とは何だったのかを考察する。	
2 学期	9	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 序章 国際秩序の変化や大衆化への問い	2	「国際秩序の変化や大衆化」について考察する。	【学習状況観察】 【プリント教材】 【ノート提出】 【自己評価】 【中間考査】
		1章 第一次世界大戦と日本の対応	4	第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。	
		2章 国際協調と大衆社会の広がり	6	欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。	
	10	3章 日本の行方と第二次世界大戦	7	大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。	【学習状況観察】 【プリント教材】 【ノート提出】 【自己評価】 【期末考査】
	11	4章 再出発する世界と日本	5	第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのだろうか。	
	12	「国際秩序の変化や大衆化」を振り返り 現代的な諸課題と結び付けて考える。	2	現代の諸課題を通し、私にとって大衆化とは何だったのかを考察する。	
3 学期	1	4部 グローバル化と私たち 序章 グローバル化への問い	2	「グローバル化」について考察する。	【学習状況観察】 【プリント教材】 【ノート提出】 【自己評価】 【学年末考査】
		1章 冷戦で揺れる世界と日本	4	冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどうのような選択をしたのだろうか。	
	2	2章 多極化する世界	4	冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどうのような経済成長を遂げただろうか。	
		3章 グローバル化のなかの世界と日本	5	冷戦が終わり、グローバル化は、世界をどのように変えただろうか。	
		これまでの学習を振り返り、現代的な諸課題の形成と展望を考える。	5	現代の諸課題をグローバル化という視点から考察する。	